

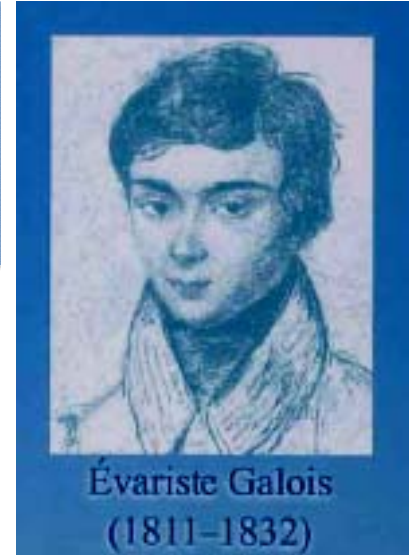
# ガロア祭

2018年6月15日(金) 16:30~

理学部6号館401号室 (京都大学北部キャンパス内)

## ~ガロア祭とは?~

学部生の皆さんに広く数学専攻の活動を知ってもらい、また専攻を選択する際の参考にしてもらうためのお祭りです。若くて活躍した代表的な数学者の一人ということでガロアの名前を冠することになりました。主に理学部の1~2回生を対象としていますが、もちろんそれ以外の方の参加も歓迎いたします。多くの皆さんの参加をお待ちしております。



## ~プログラム~

16:30~17:15

伊藤哲也 准教授「数の順序からの抽象化入門」

17:25~18:10

佐藤康彦 助教「ワイエルシュトラスの近似定理とその周辺」

18:30~19:00

懇親会、懸賞問題優秀解答者の表彰式 (茶菓を用意します)

## ~講演要旨~

伊藤哲也 准教授 「数の順序からの抽象化入門」

$1 < 3$  [1より3が大きい]  $3 < \pi$  [3より円周率  $\pi$ の方が大きい]...と、数の大小関係、つまり数の間の順序関係は普段、(数学を専門でない人でも)日常的に使用しています。その一方で、大学で学ぶ解析学で現れる  $\varepsilon - \delta$  論法のように、数学の理論や基礎においては大小関係=順序が重要な役割を果たすことは非常に多いです。ここでは、一見当たり前に感じられる数の順序を題材にして、周辺の話や、天下り的になってしまいがちな現代の数学の抽象的な定式化の背景やその動機づけなどを眺めていきたいと思えます。

佐藤康彦 助教 「ワイエルシュトラスの近似定理とその周辺」

単位閉区間  $[0,1]$  上の連続関数は多項式で一様に近似できる。このワイエルシュトラスの美しい定理が示されたのは、驚くことに彼が70歳という晩年の事でした。しかしこの定理は現在も輝きを失うことなく、より抽象的な一般化が求められています。この講演では古典的な近似定理からはじまり、近年話題となっているストーン=ワイエルシュトラスに関する未解決問題までご紹介します。

## ~懸賞問題について~

プリントの問題から好きなだけ解答してください。優れた解答を、ガロア祭の最後に表彰し賞品を出します。 解答提出先：理学部3号館数学教室事務室。 6月7日(木) 17:00締切。

\*懸賞問題は2枚目から!

数学教室ホームページ: <https://www.math.kyoto-u.ac.jp>

協力：数学セミナー(日本評論社)